

# 山形大学附属学校園だより

# 六 稜

2021.3.10  
【発行】  
山形大学附属学校園  
【印刷】  
坂部印刷株式会社



「第80回全国教育美術展 特選」 加藤后湖(6年生)「いやされるみのり園」  
(※附属小は今年度、「第80回全国教育美術展 学校賞 文部科学大臣賞」を受賞しています)

### 選ばれる学校の魅力

山形大学附属学校(園)は、明治11年10月1日に山形県師範学校附属小学校が開校した時から、昔も今もその存在する意義は、

- 一 養成から研修まで、学生及び教員を育てる学校
- 二 地域の学校、教員のモデルとなる教育・研究を進める学校
- 三 一、二のことに取り組みながら、より豊かに附属学校(園)の子どもを健全に育てる学校にあると考えている。そして、今、附属学校(園)の教職員は、PTA及び同窓会、翠稜会等の多大なご理解とご支援・ご協力をいただいていることに感謝しつつ、日々、努力・工夫を惜しまず、目の前の子どもに対し親身になった教育をしていることを申し上げたい。

さて、時代は人口減少に伴う少子化により、高等学校や幼稚園は選ばれ学校(園)としての魅力づくりに励んでいる。学区制度が基本となっている県内公立小中学校では統廃合が進み平成14年度から150校が地域から消えている。その中で、山形大学附属学校(園)は、変わらない学校規模で存在している。地域の皆様に選んでいただいていることを感謝していかねばならない。地域の中に選べる学校があることは子どもにも、教育界においても好ましいことである。それだけに、附属学校(園)は選ばれ学校としての自覚を持ち、絶えず、魅力づくりを希求していかねばならないと思っている。

今、私たちは、「超スマート社会の到来」等、かつてなく大きな社会の変革期にいます。そして、学校も社会がめざす目標を共有し、その学びも変わっていくかなければならない。冒頭で述べた附属学校(園)の存在意義を踏まえつつ、次代が求める力を育む教育をしていかなければならないのである。山形大学附属学校(園)では、次代が求める人間を育成する教育として、5つの魅力ある教育を4附一体となつて進めていきたいと考えている。

- ① ICTを活用し、探究的に学ぶ力を高める教育
- ② 郷土愛を基盤に「SDGs」(持続可能な開発目標)を踏まえた教育
- ③ グローバル化に対応できるコミュニケーション能力(英語力等)を高める教育
- ④ 共生社会を築くインクルーシブ教育
- ⑤ 個性を尊重し伸ばす教育

全国一斉にスタートした「GIGAスクール」では、その環境整備や教育実践等を県内のどの地域よりも早く進めてきた。大学の先生や学生と連携した英語教育が幼稚園から始まっている。マスコミが注目する「SDGs」の取組も実践されている。令和3年度は、PTAや同窓会、翠稜会の皆様と附属学校(園)の将来構想を共有していきたいと思つた。

附属学校運営部長  
中井義時



## 今年度の附属中学校

今年度は、5月12日から分散登校が始まり、全員登校となったのは6月からでした。入学式は、「入学の集い」として、日を変えながら1クラスずつ実施しました。市中総体等の各種大会は中止となり結果を残すことはできませんでしたが、秋に行われた新人大会では女子剣道団体の県決勝大会2位をはじめ、各競技で輝かしい成績を残しました。

運動会と合唱コンクールは感染症対策を施しながら実施し、例年以上に皆で協力しながら一つのものをつくりあげる喜びを得ることができました。

研究では、5月の「授業づくり研修会」は中止となりましたが、11月は開催することができ、世間の関心が高いICTを活用した授業等を公開することができました。

コロナ禍ではありますが、ご家庭のご協力とご理解を得ながら、日々の授業を大切に教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

研究テーマ「探究的な学びを通じた資質・能力の育成」

主な行事と日程

- 5月 PTA総会(紙面開催)
- 5月12~15日 入学の集い
- 7月 2年PTA研修会、1年PTA保護者会
- 9月4日 運動会
- 11月5日 合唱コンクール
- 11月12・13日 授業づくり研修会
- 12月 PTA作業(ワックスがけ)、PTA研修会(動画開催)
- 2月5日 制服リユース会



## 今年度の附属特別支援学校

昨年度末から続いた全国一斉休業により、4月になっても学校が再開せず、「いつ学校が始まるの?」と児童生徒の皆さんが保護者の方に思いを伝えるなど、大きな不安があったようです。また、楽しみにしていた入学式は中止となり、残念な思いを抱いたお父さんも多かったと思ひます。入学式の前代わりとしては新入生と保護者、一部の教員による「入学を祝う会」を実施しました。

臨時休業期間に様々なコロナ禍の対応を検討し、5月11日より、山形市内では一番早く学校再開を行うことができました。久しぶりのお父さんの登校により、学校は活気を取り戻しました。

2学期からは更に感染対策を講じて、修学旅行(小学部:庄内方面、中学部:秋田方面、高等部:庄内方面)をはじめとした校外学習を実施いたしました。

また、「ふれあいオリパラ2020」「ふれあいタイム」において、縦割り活動によるカラーリング、ターゲットポッチャなど、パラスポーツを楽しみました。

附属学校園として進めているGIGAスクール構想、SDGsについても様々検討しております。更なるご支援、お願いいたします。

研究テーマ「一人一人が自己の学びを実感し、生活していく姿を求めて」

主な行事と日程

- 4~5月 PTA総会(紙面開催)
- 10月22日 PTA研修会
- 11月13日 授業づくり研修会
- 12月21日 ふれあいタイム①
- 1月12日 ふれあいタイム②
- 2月11日 ふれあいオリパラ2020



## 今年度の附属幼稚園

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため6月から全員登園となりました。例年同月に開催している「遊びと学びフォーラム」を中止し、代わりに参加人数限定で「研究協議会II」を10月に開催しました。遊びに夢中になる子ども達の姿、研究への取組み等について好評を得ることができました。

教育課程の重点である「食育」への取組みについては、今年度も大学の森研究室や保護者の皆様の協力を得ながら活動を展開しました。6月のサクラボ学習(学生とのオンライン交流)を皮切りに、季節野菜の栽培や収穫、調理等の体験を通じて、食材への興味・関心を高めながら望ましい食習慣づくりに取り組みました。また、新たに山形特産の食用菊を味わうことにも挑戦しました。

研究テーマ「遊びこむ子どもを育む」

主な行事と日程

- 9月12日 運動会
- 10月6日 園外保育(年少:県庁公園、年中:ひぐらし公園、年長:千歳山登山)
- 10月10日 親子行事
- 10月27日 研究協議会II
- 12月2・9・16日 ステージフェスティバル
- 1月14日 雑煮会食
- 2月17日 年長さんありがとうの会



## 今年度の附属小学校

5月一杯まで臨時休校が延長される中、5月11日からは1クラスを3グループに分けた分散による臨時登校を行いました。学校を再開した6月1日からは縦割りの学級別時差通学、8日からは給食再開を果たし、19日には「開校記念・1年生の入学を祝う会」を、中止となった入学式の代わりに開催することができました。

その後の子ども達は、今年度の大テーマ「前向きな心で希望の種を育てよう」のもと、オンラインで代表集会を開いたり、みのり遠足に代わるみのりお楽しみ会でフラッグ制作活動に取り組んだり、今できることに全力でチャレンジしてきました。みのりスポーツフェスティバルでは、前向きな気持ちをもち続け、たくましく成長した姿を、保護者の皆様から直接見ていただくことができました。

研究テーマ「よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び」

主な行事と日程

- 6月19日 開校記念「1年生の入学を祝う会」
- 7月10日 みのりお楽しみ会
- 10月3日 みのりスポーツフェスティバル
- 10月16日 授業づくり研修会事前研
- 10月23日 みのり登山
- 11月6・13日 授業づくり研修会①②
- 3月5日 6年生を送る集会

## 編集後記

今年度は、コロナに翻弄された1年でした。恒例の四附の交流学習も、小中の合唱交流会などは実施できず、残念な思いがありました。特に、PTA関連の行事は、多数の人が集まることから、中止や動画開催などにせざるを得ませんでした。しかし、こうして四附のPTA会長さんの原稿を拝読しますと、コロナ禍の中でもなんとか工夫してPTA活動を実施しようとして下さっていたことがわかり、頭の下がる思いがしました。また、コロナ禍によってPTA活動の幅が広がる可能性もみえた気がします。出席が難しい方へのオンライン配信、Zoomで手軽にリモート会議など、参加の形態を多様に準備することで、PTA活動も活性化するのではないかと考えたところです。

最後になりますが、大学、附属学校運営部、学校園の先生方、保護者の皆様へ感謝申し上げます。編集後記といたします。

編集委員  
會田元美、結城麻記子(幼)  
高橋祐也、相原聡(小)  
福井雅子、菅光子(中)  
高橋幸絵、原田恵美子  
柏木里花(特)



PTA研修会(特PTA)



PTA作業(中PTA)



みのりスポーツフェスティバルの受付の様子(小PTA)



親子行事(幼PTA)

PTA活動

今年度のPTA活動によせて

附属特別支援学校PTA会長 結城 由美

日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、臨時休校となった昨年二月。先が見えない不安を覚えました。休校中、定期的な先生との電話連絡で保護者はもちろん、子どもたちにとっても先生との繋がりを改めて感じる貴重な経験でした。ようやく登校が許され、待ちわびた学校へ胸躍らせ嬉しそうに出掛けた子どもの姿が思い出されます。今年度PTA活動は、感染予防及び感染対策を講じたうえで計画、実施致しました。卒業生の保護者の方をお迎えして、保護者研修会「子どもの卒業後の進路に向けて保護者として家庭でできること卒業後の生活の実践について」では、ご講演の後、グループに分かれての情報交換などたいへん有意義な会となりました。また、例年行っております「おさぎりの会」についても、提供していただいた品物を一覽でお知らせし、分散して利用できるよう、五日間設けて行いました。今後も、安心・安全で充実した学校生活ができますよう、学校と連携してまいりたいと思っております。コロナ収束を祈りつつ、期待と希望をもって、皆さんと共に歩んでいきたいと願っております。

失われた一年間

附属中学校PTA会長 佐藤 公啓

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本校でも、昨年2月からのコロナ禍により、学校行事・イベントのほとんどが中止となってしまいました。そのような中で、PTAは例年であれば、各専門部が中心となり、学校行事への協力・歓迎の企画運営などを通じて、PTA活動を実践している筈でしたが、また、保護者対象の講演会や懇談会の開催なども行われておりましたが、今年は様々な活動の機会が失われてしまったことを残念に思っております。かろうじて、感染症対策を施しながら、広報部による「附中だより」の発行、施設厚生部によるワックス塗布、総務部による合唱コンクール協力、母親委員会による「制服リユース会」等は実施することができました。また、余剰となったPTA活動費の一部で、運動会の「綱引き」で使用する、密を避けるための綱を新たに学校に寄贈しております。今は生徒たち、そして先生方も、誰も経験したことのない時間を共に過ごし、一度しかない学校生活を頑張っています。一刻も早く普通の生活が、全ての学校に戻ってくる事を心から祈念申し上げると共に、子ども達をサポートするため、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍におけるPTA活動

附属小学校PTA会長 浅野 和宏

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、活動を大幅に制限せざるを得ませんでした。六月からの学校再開後は、評議員と総務部は安全部と協力して、子ども達の登校を学年毎に見守りました。広報部は、中止となった学習参観の代わりに「小だより」で「誌面学習参観」と題してたゆまず学びの様子を伝えました。保健部は、みのりSF(スポーツフェスティバル)を今年度初めての学習参観を兼ねる形で実施するために、観覧者の受付や誘導など、感染防止対策を取り仕切りました。研修部は、コロナ禍において健康な生活を送るために必要な力を研修部だよりで伝えようと、これまでに開催された研修会(教育講演会)の映像を配信しました。母親委員会は、制服リユース会を新入児童の保護者向けに開催しました。今後とも、附属小学校の歴史と伝統を大切にしつつ、困難な状況には柔軟に対応する姿勢でPTA活動に臨み、子ども達の健やかな成長を見守り続けてまいります。

コロナ禍で変わるPTA活動

附属幼稚園PTA会長 長谷川 貴一

日頃よりPTA活動への深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により多くの制限を受けましたが、「コロナだから中止」が前提ではなく、どうしたら安全に開催できるのかという視点で考え、感染防止に努めながら、可能な限り前向きにPTA活動に取り組んで参りました。本園のPTA組織は、学級委員長会及び行事部、広報部、図書部の三つの専門部で構成されています。学級委員長会では、山形市少年自然の家にて親子行事を開催しました。密にならないよう屋外でのアスレチックやキーホルダー制作等、親子で楽しめるイベントを企画し、保護者間、親子の親睦を深めることができました。行事部ではオンライン中継を用いた運動会をはじめ、本園が力を注ぐ食育活動の一環である雑煮会や郷土料理などの会食補助に取り組みました。園行事の様子は、広報部による「園じよい」で紹介しております。子供たちの笑顔溢れる園生活が伝わる広報誌です。図書部では学級分冊貸出や新刊購入、好評のリサイクル会を開催しました。今後も、子供たちの健やかな成長と魅力ある幼稚園づくりを進めるため、PTA活動の充実に取り組んで参ります。



附属小学校との交流及び共同学習(特・小)



家庭科交流(幼・中)



幼稚園運動会(中・幼)

交流学习の様子